

日食・月食・天体観測について調べる



このガイドでは、日食・月食など天文現象について調べる図書や、天体観測の楽しみ方についての図書を紹介します。

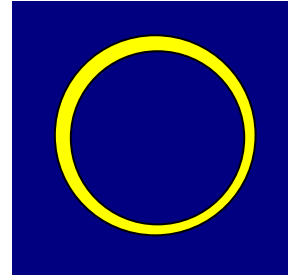
日食・月食のしくみ

太陽が月に隠される現象が日食、地球の影に月が隠される現象が月食です。日食には、太陽が月に完全に隠される「皆既日食」、太陽がリング状に見える「金環日食」、太陽の一部が隠される「部分日食」があります。月食にも、「皆既月食」と「部分月食」があります。

詳しくは以下に紹介するインターネットの情報源や、日食・月食に関する本をご覧ください。

※名古屋で見られる主な日食・月食の予定は以下のとおりです。

皆既月食：2021年5月26日、部分日食：2019年12月26日、金環日食：2041年10月25日



★ 日食・月食など天文現象に関するインターネットの情報源

- ◆JAXA（宇宙航空研究開発機構）宇宙情報センター <http://spaceinfo.jaxa.jp/>
「宇宙と宇宙開発のことならなんでもわかる」という理想を実現するために作られたサイト。
「日食と月食」 http://spaceinfo.jaxa.jp/ja/solar_eclipses.html
- ◆国立天文台 <https://www.nao.ac.jp/>
「ほしぞら情報」 <https://www.nao.ac.jp/astro/sky/>
その年の毎月の天文現象の詳しい紹介のほか、「三大流星群」、「日食・月食・惑星現象一覧」、「各月ごとの星空画像」も見ることができます。
- ◆日食・月食・星食情報データベース（北海道大学）
<https://almus.iic.hokudai.ac.jp/databases/x10553/>
紀元前2000年から3000年までの五千年分の日食・月食情報などが検索できます。
- ◆名古屋科学館 <http://www.ncsm.city.nagoya.jp/>
「天文情報」 <http://www.ncsm.city.nagoya.jp/study/astro/index.html>
天文現象の名古屋での情報も知ることができます。国際宇宙ステーションの見え方も紹介。

★ 日食・月食に関する本 →444.7：日食（マップ②）

- 『これから見られる日食と月食データブック 2012-2050』片山真人著 誠文堂新光社 2012《444.7/カ》
2012年から2050年までに起こる日食・月食を網羅して年代順に詳しいデータを掲載。観測に適した日食の任意の場所における見え方、皆既月食・部分月食の見え方を詳しく紹介しています。
- 『日食のすべて 皆既日食と金環日食の観測と撮影』大越治 塩田和生著 誠文堂新光社 2012《444.7/材》
日食のしくみから、日食時に見える現象とその観測法、撮影法などについて、写真や図を多数掲載し詳しく解説しています。2012年から2035年までの皆既日食・金環日食が見られる地域についても詳しく説明しているほか、日食関連文献や観測の報告書、Webサイトも紹介。
- 『完全ガイド皆既日食』武部俊一著 朝日新聞出版 2009《444.7/タ》
- 『皆既日食ハンターズガイド』eclipseguide.net 編 INFASパブリケーションズ 2006《444.7/エ》
いずれも、2009年の皆既日食の前に出版された本です。日食のしくみや観察方法だけでなく、日食観測の歴史、映画や文学の中の日食など、さまざまなテーマの情報を収録しています。

★ 毎年の天文現象の予定を調べるには

- 『天文年鑑』誠文堂新光社 《R440.59/テン》（マップ①）
- 『理科年表』国立天文台／編 《R403.6/コク》（マップ①）
毎年の天文現象の予定を調べる時に使用する定番資料です（館外貸出はできません）。

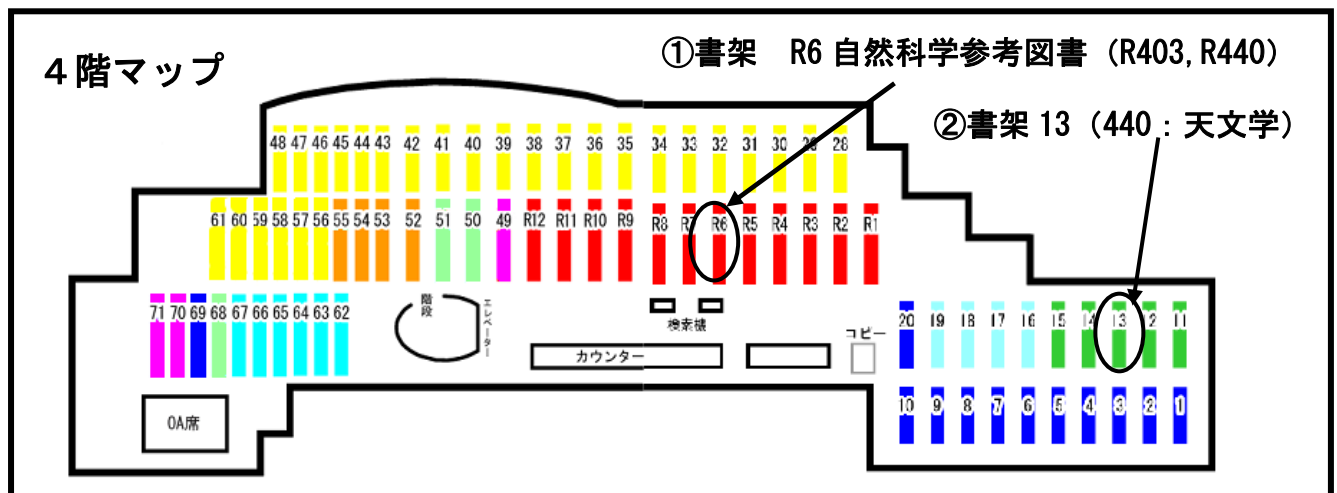
★ **天体観測について** →442：天体観測法（マップ②）

- 『全国公開天文台ガイド』日本公開天文台協会監修，恒星社厚生閣編集部編
恒星社厚生閣 2018《442.1/ㄗ》
全国各地 173 館の公開天文台の見所と利用案内を掲載したガイドブック。
- 『星空の教科書』早水勉著 技術評論社 2017《442/ハヤ》
星図の見方、星座の見つけ方などを解説した天体観測の入門書。
- 『天体観測の教科書 星食・月食・日食観測編』誠文堂新光社 2009《442/ㄗン》
月が星を隠す星食や、日食、月食の原理・観測方法について、わかりやすく解説。同じシリーズに「流星観測編」、「惑星観測編」、「変光星観測編」、「太陽観測編」もあります。
- 『テーマ別ではじめる天体観察』えびなみつる著 誠文堂新光社 2011《442/ㄗト》
初めて天体観察をしてみようという人のために、天体観測の方法や天文現象のしくみなどをイラストと写真でわかりやすく解説した入門書。月と太陽、惑星、流れ星と彗星、星雲・星団と銀河などから、58 のテーマをとりあげています。
- 『よくわかる天体望遠鏡ガイド』えびなみつる著 誠文堂新光社 2009《442.3/ㄗト》
天体望遠鏡を初めて購入しようと考えている方、買って見たが使い方がよくわからないという方のために書かれた本。上手な買い方やセットアップのしかたから手入れの方法まで丁寧に解説。

★ **星座を探してみよう** →443.8：星図・星座（マップ②）

- 『星座の図鑑』沼澤茂美・脇屋奈々代著 誠文堂新光社 2017《443.8/ヌマ》
各星座に関する解説と、星雲・星団・銀河などを紹介しています。
- 『よくわかる星空案内 新版』木村直人著 誠文堂新光社 2017《443.8/キム》
プラネタリウムの解説者が星座の探し方を紹介しています。
- 『星空図鑑』藤井旭著 ポプラ社 2003《443.8/フジ》
各季節の代表的な星座を星図と写真で紹介しています。星を観測するための基本的な知識についても解説し、太陽、月や惑星から、流星、彗星などとりあげます。
- 『誰でも探せる星座 1等星からたどる』浅田英夫著 地人書館 2011《443.8/アサ》
誰でも見つけられる1等星のある星座から、周りにある星座を次々に見つけていくという方法で、星座の探し方を紹介。市街地と山間地の星座の見え方も比較しています。

※以上の他にもおすすめの本を多数所蔵しています。書架 13(マップ②)を直接ご覧いただくか、「天体観測」「星座」などのキーワードで検索してください。またこのテーマは児童図書室の本が、大人の方にとってもわかりやすく便利です。1階児童図書室の J440～J447（書架 2）の本もあわせてご覧ください。



問合せ先：愛知県図書館
〒460-0001 名古屋市中区三の丸 1-9-3 <https://www.aichi-pref-library.jp/>
TEL:052-212-2323（代表） 052-212-3200（調査相談専用） FAX:052-212-3674